

連絡機関：在日アメリカ大使館，アジア財団

○ Dr. Carl Frisén: Chief, Population Division, ECAFE, Bangkok, Thailand

年月日：1971年12月10日

用務：第2回アジア人口会議に関する打ち合わせ

連絡機関：UNDP

○ Dr. Jagan Nath Kaul: Development Officer, University Grants Commission, New Delhi, India

年月日：1971年12月22日

用務：日本における人口研究および教育についての調査

連絡機関：国立教育研究所

## 人口問題審議会の答申「最近における人口 動向と留意すべき問題点について」

厚生省の人口問題審議会（会長 新居善太郎）は、昭和46年10月21日の総会において、昭和42年4月26日に厚生大臣（坊 秀男）より受けた「わが国最近の人口動向にかんがみ、人口問題上、特に留意すべき事項について」の諮問に対する最終答申を行なった。

同審議会は、一昨年8月に行なった中間答申（わが国人口再生産の動向についての意見）のなかでは、高齢化が進み、年少人口が減少していくという年齢構造上の問題点を指摘した。しかし、今回は、とくに「人間性の回復と社会開発の再認識」との副題をつけ、公害や交通戦争を始め、大都市への人口集中に伴う社会のふらゆるひずみに焦点を合わせ、これが、身障者の増加や青少年の非行化を招くだけでなく、日本人全体の資質向上を妨げているという危機感を、答申の背景としている。

今回の答申の全文をここに掲げることは紙幅の関係で不可能であるが、その内容目次は次のとおりである。

### 最近における人口動向と留意すべき問題点について（答申）

#### ——人間性の回復と社会開発の再認識——

まえがき

#### 1 最近における人口動向と問題点

- (1) 人口革命の進展
- (2) 幼少年人口の動向
- (3) 生産年齢人口の動向と労働力人口
- (4) 人口老年化にともなう課題
- (5) 人口移動に関する問題
- (6) 地域開発に関する課題
- (7) 人口資質に関する問題点
- (8) 人口資質向上の意義

#### 2 優生対策と保健教育

- (1) 遺伝病等の予防
- (2) 結婚対策
- (3) 早期成熟と性教育対策
- (4) 保健教育の充実と組織化

#### 3 出産と幼少年人口の健全育成

- (1) 健全な出生力の保持

- (2) 妊産婦対策の強化
- (3) 健全な家族計画の普及
- (4) 乳幼児死亡の改善
- (5) 児童福祉対策の強化
- (6) 年少者の保育と社会的訓練
- 4 青壮年人口と労働力
  - (1) 縮小する若年労働力
  - (2) 能力開発と教育
  - (3) 労働力の質的調和
  - (4) 出稼ぎ労働力に対する配慮
  - (5) 女子の労働と家庭の健全化
  - (6) 勤労婦人の母子保健対策
- 5 急増する老年人口
  - (1) 健全な老年への準備は青壮年時代から
  - (2) 成人病対策の強化
  - (3) 老齢保障の拡充
  - (4) 就労と定年制の再検討
  - (5) 老人を忘れない家庭生活
  - (6) 孤独な老人への対策
  - (7) 老人の社会活動への参加
- 6 心身障害者等の問題
  - (1) 身体障害者に対する対策
  - (2) 精神障害者の医療の再検討
  - (3) 社会的順応の促進
- 7 地域人口の変動と環境
  - (1) 地域開発の方向
  - (2) 環境悪化と人口資質
  - (3) 人口資質を高めるための住宅環境
  - (4) 都市における環境整備
  - (5) とり残された地域における環境整備
  - (6) 環境保全と自然保護
  - (7) 新しいコミュニティ（地域社会）の建設
- むすび
  - 1 人口資質問題に対する基本的目標
  - 2 人間性の尊重
  - 3 重点対策

(山口喜一記)

## 1971年度日本地理学会秋季大会

1971年度日本地理学会の秋季大会は、昭和46年10月2日（土）から7日（木）まで、鹿児島市鹿児島大学法文学部において開催された。本研究所から伊藤達也技官（人口移動部移動科）が出席した。

本大会は、「台地」、「地域開発と環境保全」、および「離島」の三つのシンポジウムを中心に、各種研究委